

PassLogic for Windows Desktop

Ver.1.1.0

インストール・運用管理ガイド



本書について

本書は、PassLogic for Windows Desktop インストール・運用管理ガイドです。

表示画面

表示画面などは、操作の一例として掲載しているため、実際に表示される画面とは異なる場合があります。

商標および免責事項

PassLogic およびパスロジは、パスロジ株式会社の登録商標です。

Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本書に記載されている会社名、製品名は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

本製品は医療機器、原子力施設、航空関連機器、軍備機器、輸送設備やその他人命に直接関わる施設や設備など、高い安全性が要求される用途での使用は意図されていません。該当する施設や設備には使用しないでください。

版權/注意

本書の内容の一部または全部を無断で複写転載することを禁じます。

本書に掲載の内容及び製品の仕様などは、予告なく変更されることがあります。

本書の内容は万全を期して作成しておりますが、万一ご不明な点や誤り、記載漏れ、乱丁、落丁などお気づきの点がございましたら、弊社までご連絡ください。

目次

目次.....	2
1 概要.....	3
2 動作環境.....	3
3 インストーラー配布前の準備.....	3
3.1 インストーラーの設定.....	3
3.2 配布用インストーラーファイル作成.....	5
3.3 PassLogic サーバの設定.....	5
4 インストール.....	5
4.1 モジュールのインストール.....	5
4.2 ドメインに参加する.....	8
5 オンライン認証.....	9
6 オフライン認証.....	11
7 ローカルアカウントでログインする.....	13
8 イベントログ.....	14
9 アンインストール.....	14

1 概要

PassLogic for Windows Desktop (以下、本モジュール)は、Active Directory のドメインに参加している Windows 端末に対して、PassLogic 認証を利用してログオン可能になるモジュールです。

PassLogic の構成が全て完了している状態でインストール・使用を開始してください。

他社の認証製品と同時に使用することはできませんのでご注意ください。

2 動作環境

本モジュールの動作環境は以下の通りです。下記以外の Windows OS のエディション、PassLogic のバージョンの動作に関しましては、サポートへお問い合わせください。

【クライアント端末】

Windows 7 Pro SP1	32bit 版 / 64bit 版
Windows 7 Enterprise SP1	32bit 版 / 64bit 版
Windows 7 Ultimate SP1	32bit 版 / 64bit 版
Windows 8.1 Pro	32bit 版 / 64bit 版
Windows 8.1 Enterprise	32bit 版 / 64bit 版
Windows 10 Pro	32bit 版 / 64bit 版
Windows 10 Enterprise	32bit 版 / 64bit 版

* Active Directory ドメインに参加している必要があります。

* .NET Framework 4.5.1 以上がインストールされている必要があります。

【PassLogic サーバ】

PassLogic エンタープライズ版 3.0.0

* iptables や firewalld などファイアウォールを動作させている場合には、ポート番号 7443 にアクセスできるように設定して下さい。

3 インストーラー配布前の準備

3.1 インストーラーの設定

PassLogic インストールメディアに同梱されている「PassLogic_for_Windows_Desktop-x.x.x.zip」を任意のディレクトリに展開します。

(root 権限で実行)

```
# cp /cdrom/PassLogic_for_Windows_Desktop-x.x.x.zip /usr/local/src/
```

```
# cd /usr/local/src/
```

```
# unzip PassLogic_for_Windows_Desktop-x.x.x.zip
```



以下のファイルに設定を記述します。x64 は 64bitOS 用、x86 は 32bitOS 用の設定ファイルです。

```
/[本モジュール zip ファイル展開先]/x64/PassLogic/Passlogy/InstallSetting.txt
/[本モジュール zip ファイル展開先]/x86/PassLogic/Passlogy/InstallSetting.txt
```

設定するキー名と設定値の内容は以下の通りです。

【クライアント設定】

AuthURL 1～4 (AuthURL 1 は必須)	PassLogic サーバにアクセスする URL です。ポート番号は 7443 固定です。 【例】 https://[PassLogic FQDN]:7443/passlogic/api/auth
MaxRetryTimes	PassLogic サーバ接続失敗時に再接続を行う回数です。 この回数を超えるとオフライン認証に切り替わります。
ProxyFQDN	PassLogic サーバ接続時に使用するプロキシサーバの FQDN です。
ProxyPort	PassLogic サーバ接続時に使用するプロキシサーバへの使用ポート番号です。
Seed	乱数表生成時に使用するシードです。端末毎に個別の値が自動で設定されます。 ※変更しないでください。
TimeOut	PassLogic サーバ接続時のタイムアウト時間(秒)です。

【言語設定】

DefaultLang	ダイアログメッセージのデフォルト言語を、10 進数のロケール ID で記述します。 下記の【表示メッセージ】に設定されていない言語コードの環境で使います。 【例】 日本語:1041 英語(US):1033
-------------	--------------------------------------------------------------------------------------------------------------

【表示メッセージ設定】

MesExpiredPasswordErr (*1)	PassLogic パスワードが有効期限切れ、かつパスワード変更する必要がある時に表示されます。
MesExpiredPasswordWrn (*1) (*2)	PassLogic パスワードが有効期限切れ、かつパスワード変更まで猶予がある時に表示されます。
MesNoData (*1)	乱数表取得失敗時に表示されます。
MesAuthFailed (*1)	PassLogic 認証失敗時に表示されます
MesFailedOver (*1)	オフライン認証に規定回数以上失敗した場合に表示されます。
MesRemainWrn (*1) (*2)	オフライン認証できる回数が規定回数以下になった場合に表示されます。
MesHelp01 (*3)	ユーザ名入力時のヘルプメッセージです。
MesHelp02	PassLogic パスワード入力時のヘルプメッセージです。
MesHelp03 (*1)	PassLogic パスワード入力時のヘルプメッセージです。
MesHelp04	Windows パスワード入力時のヘルプメッセージです。
MesHelp05	Windows パスワード変更時のヘルプメッセージです。

*1:オフライン認証時のみ使用。

*2:@limit@の文字列を含めると、残り回数に置き換わります。

*3:@hostname@の文字列を含めると、コンピューター名に置き換わります。

3.2 配布用インストーラーファイル作成

以下のコマンドで配布用インストーラーファイルを作成します。

```
# cd /[本モジュール zip ファイル展開先]/[x64 または x86]/  
# zip -r [任意のファイル名].zip *
```

3.3 PassLogic サーバの設定

「PassLogic Enterprise Edition インストール・運用管理ガイド」の2.2章「ポリシー設定」を参考に、「Windows Logonの使用」が有効なポリシーを作成し、Active Directoryと連携している任意のユーザに適用してください。

4 インストール

Windows 端末に本モジュールをインストールします。**管理者権限のユーザで操作を行ってください。**

4.1 モジュールのインストール

①3.2 章で作成した zip ファイルをデスクトップ等の任意のフォルダーに解凍します。



②「PassLogic_x64.msi」(32bit 版は「PassLogic_x86.msi」)をダブルクリックします。



③「使用許諾契約書に同意します」にチェックを入れ「インストール」をクリックします。



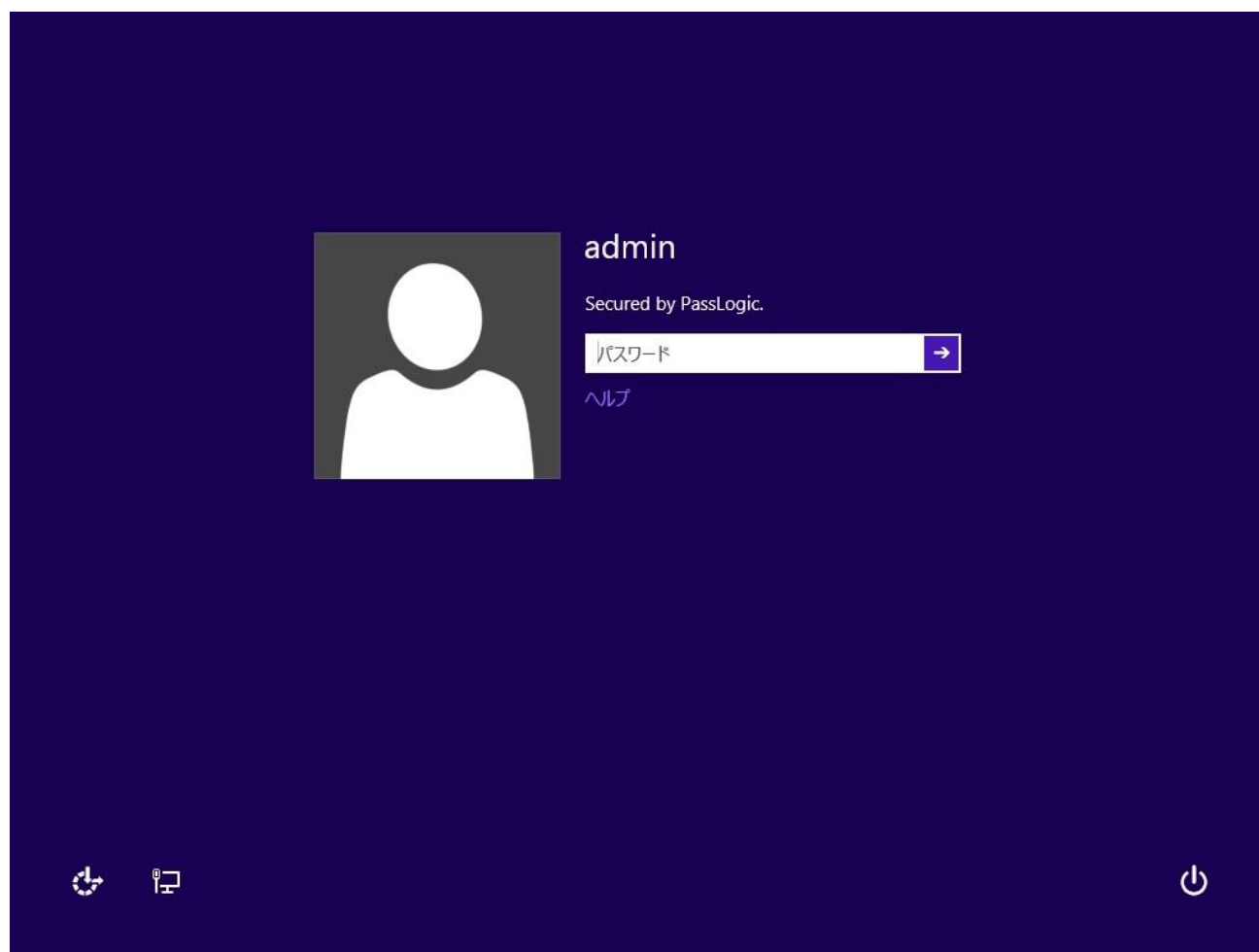
④ユーザアカウント制御の確認ダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。

⑤「完了」をクリックし、OS を再起動します。



⑥PassLogic 用のログオンフォームが表示されたらインストール成功です。

※「Secured by PassLogic.」の文字が表示されます。



⑦管理者権限のユーザで再度ログオンします。ユーザ名を入力する場合はコンピューター名を含めて入力して下さい。

【例】「コンピューター名¥ユーザ名」「ユーザ名@コンピューター名」

4.2 ドメインに参加する

Windows 端末を PassLogic サーバと連携している Active Directory のドメインに参加させます。**コンピューター名とドメイン名(AD の NetBIOS 名)は 同一にしないでください。**同一の場合、全てローカルユーザとして扱われます。

5 オンライン認証

PassLogic サーバに接続できる環境であれば、オンライン認証を常時行います。以下の手順でログオンします。

- ① 左上の矢印をクリックします。



- ② ログオンするユーザのタイルを選択します。一覧にない場合は「他のユーザー」を選択してください。

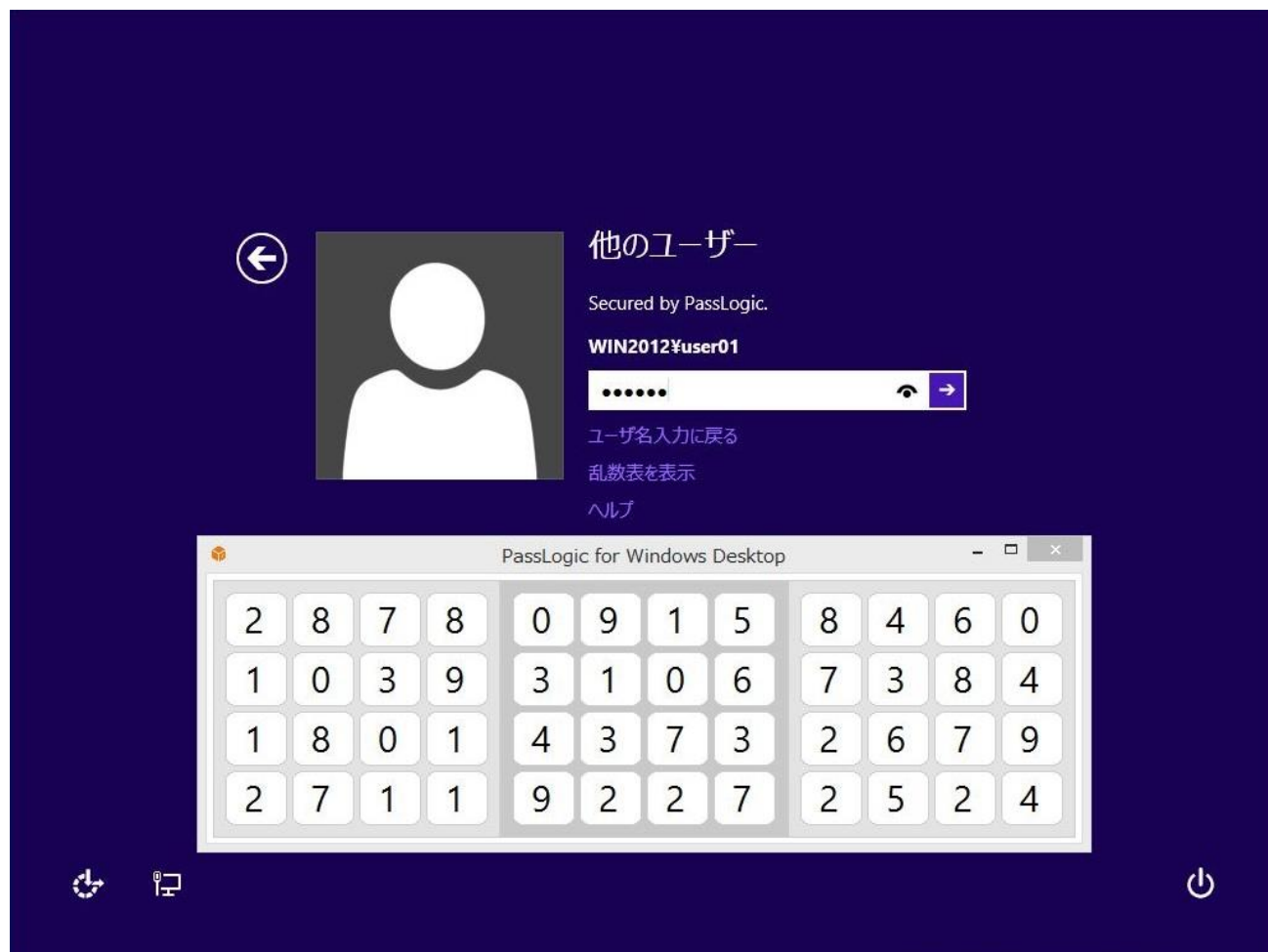


- ③ 「他のユーザー」を選択した場合はユーザ名を入力します。



④乱数表から PassLogic パスワードを入力します。

※Windows7 では、乱数表ウィンドウのサイズ変更・移動・閉じる操作は行えません。



⑤PassLogic サーバの認証方式の設定が Hybrid の場合は、AD パスワードを入力します。

「ようこそ」が表示されればログオン成功です。



6 オフライン認証

PassLogic サーバに接続できなかった場合は、自動的にオフライン認証に切り替わります。**一度、オンライン認証が成功しているユーザのみ利用できます。**

① 左上の矢印をクリックします。



② ログオンするユーザのタイルを選択します。一覧にない場合は他のユーザー」を選択してください。

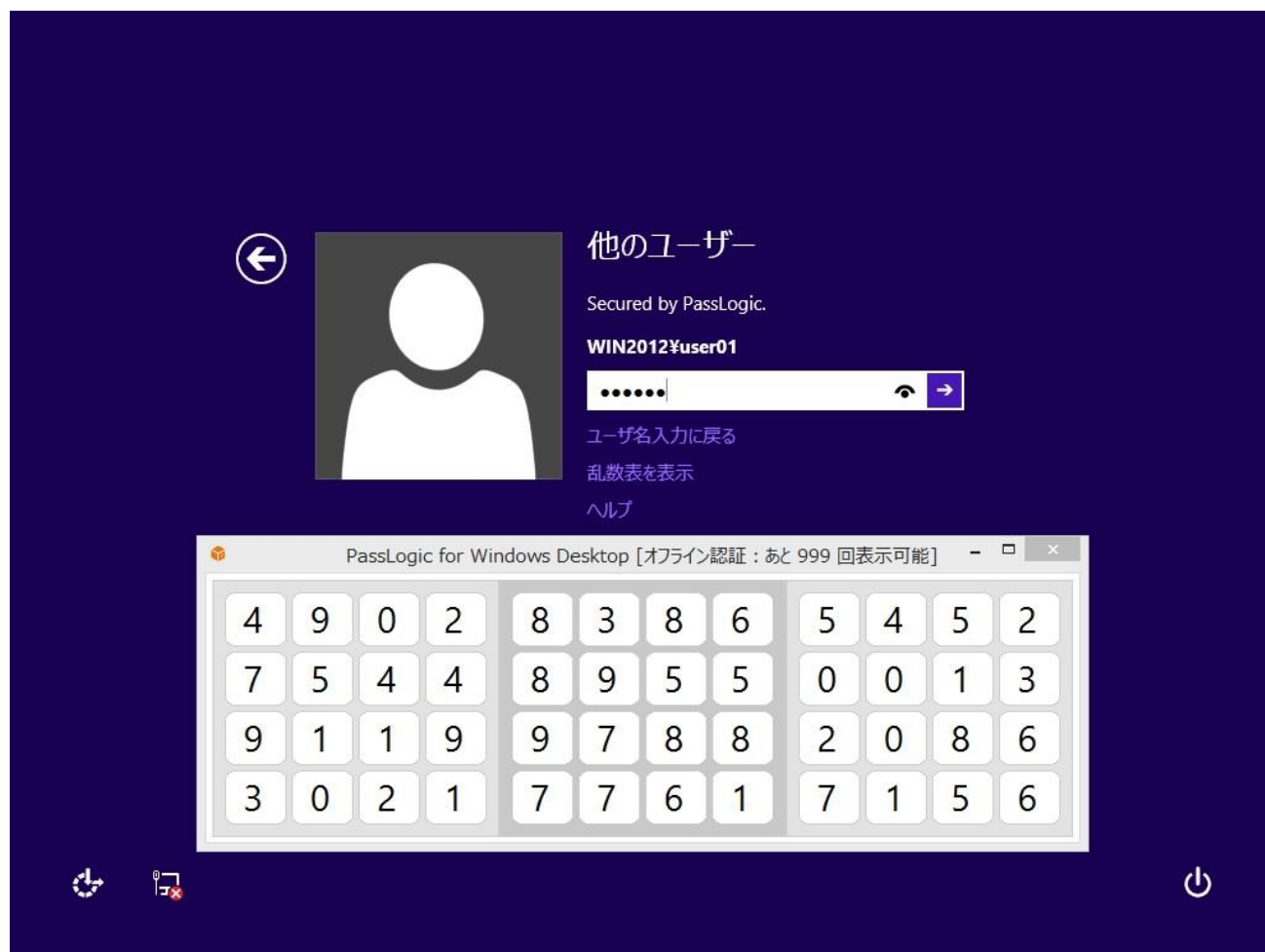


③ 「他のユーザー」を選択した場合はユーザ名を入力します。



- ④乱数表からPassLogic パスワードを入力します。オフライン認証時は乱数表ウィンドウに残り表示回数が表示されます。（オンライン認証をすることで残り表示回数が補充されます。）

※Windows7 では、乱数表ウィンドウのサイズ変更・移動・閉じる操作は行えません。



- ⑤PassLogic サーバの認証方式の設定が Hybrid の場合は、AD パスワードを入力します。
「ようこそ」が表示されればログオン成功です。



7 ローカルアカウントでログインする

端末内に登録されているアカウントは、PassLogic 認証をせずにログオンすることができます。

①左上の矢印をクリックします。



②ログオンするユーザのタイルを選択します。一覧にない場合は他のユーザを選択してください。



③コンピューター名を含むユーザ名を入力します。

【例】「コンピューター名¥ユーザ名」「ユーザ名@コンピューター名」



④パスワードを入力します。



8 イベントログ

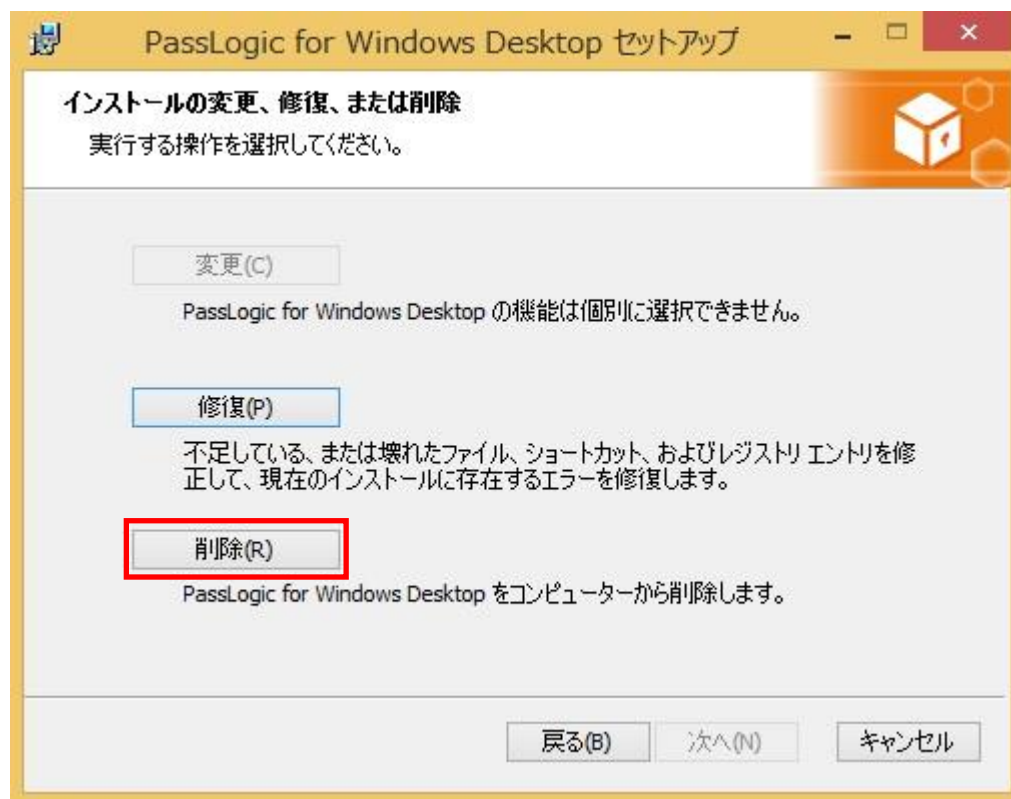
本モジュールのイベントログは「Windows ログ>Application」の階層に保存されています。
ソース名を「PassLogic」でフィルタを作成するとまとめて閲覧できます。

9 アンインストール

以下の手順でアンインストールが行えます。**管理者権限のユーザで操作を行ってください。**
アンインストールをすることで通常の AD パスワードのみの認証で Windows にログオンできます。
①インストーラー「PassLogic_x64.msi」(32bit 版は「PassLogic_x86.msi」)をダブルクリックします。



②「次へ」をクリックし、「削除」をクリックします。



③ユーザアカウント制御の確認ダイアログが表示された場合は「はい」をクリックします。

④「完了」をクリックし、OS を再起動します。



⑤従来のログオンフォームが表示されたらアンインストール成功です。

※「Secured by PassLogic.」の文字が表示されなくなります。

